



活動紹介

四万十川財団は、高知県と四万十川流域5市町（四万十市、四万十町、中土佐町、津野町、梶原町）が共同で基本財産を出資して2000年2月に設立されました。行政や民間団体と連携・協働し、四万十川の保全と地域の振興を目的とした活動をする民間組織です。主に事務局などの黒子役が多いのであまり表に出ませんが、四万十川流域の様々な活動を下支えしています。



1. 窪川小学校での環境学習 2. 高知県立大現地実習
3. 吉見川での清掃活動

目指す未来

わたしたちが大切にしたい四万十川の価値とは、「人とのかかわり」を持った川。四万十川は、ただ「透明度が高くきれい」ではなく、そこに人々の暮らしが息づいています。わたしたちは、社会や四万十川自身に働きかけ、現代の変化と共存しながらもその価値を継続させ、未来の子どもたちへ繋いでいくことを目指します。四万十川流域で暮らす皆さんと一緒に少しでも前に進んでいければと切に願います。

求める！



昔の四万十川で遊ぶ人々の写真を探しています
ご提供いただける方はご連絡ください



お問い合わせ先
＞＞＞

公益財団法人四万十川財団



29-0200



大切にしたい四万十川の価値。

それは、「人とのかかわり」

を持った川であること。



影野小学校での環境学習

- 四万十川流域の子どもたちと四万十川学習
- 四万十川で遊ぶ人々を守る救命道具を設置
- 四万十川に関わる行政・民間団体のお手伝い
- 四万十川の文化継承
- 四万十川の情報発信
- 四万十川の清掃



十川中学校「協働の川プロジェクト」授業風景



魚道調査



十和地域にある戸川川では、魚の遡上を妨げる堰に魚道を設置するため、遡上する水生生物の魚類調査が行われています。これは、平成30年度に十和地域まちづくり協議会にて提案され、現在では魚道設置によるモニタリング調査を活かして、子どもたちへの環境教育も目指して行っている調査です。

最後の清流を、守り抜く。

毎年四万十の日（4月10日）周辺に実施している四万十川一斉清掃。始まりは今から29年前の平成4年。当初は7月25日の「川の日」に合わせて実施されていました。地域の方々や建設業者の皆さまなどのご協力のもと、「最後の清流」を守り抜き、後世に引き継いでいくために行われている四万十川一斉清掃は、四万十川流域にあたる津野町、梶原町、中土佐町、四万十市、そして四万十町の5市町が一体となり、四万十川とその周辺河川の清掃を行う取り組みです。これは、四万十川流域の自然環境を守っていくことはもちろん、美しいその景観を維持することで、四万十川のブランド力向上やそれによる観光・外商などの効果により、四万十川流域に外からの経済循環を生み出し、わたしたちの暮らしによい影響を生み出していくための取り組みでもあります。



今年度もご協力いただきありがとうございました



今年度の四万十川一斉清掃は4月11日に、地域の方々や町内事業者のご協力により実施することができました。また、ゴミの収集運搬では、町内建設業者からダンプと運転手の派遣協力をいただき、回収したゴミの総量は、7,530kgという結果となりました。早朝よりご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。